

北里大学病院 形成外科・美容外科では骨再生の研究を行っています。

『新鮮腸骨海綿骨由来の間葉系細胞と長期間(10年以上)凍結保存された骨組織由来の間葉系幹細胞における代替骨組織の研究および凍結保存細胞の安全性に関する研究』 へのご協力をお願い

1, 研究の目的

当院で過去に口唇裂・口蓋裂の治療目的で顎裂部骨移植術を行った患者様で、同意を頂いた方の余剰骨組織由来細胞は、現在も当科研究室にて大切に凍結保存されています。今回凍結保存を開始してから10年以上経過した検体に対して、この骨組織由来細胞が再び骨組織を作るか否かの研究を始めました。

また、新鮮骨との比較を行うために、腸骨、上下顎骨(歯槽骨)などに対しても凍結保存骨と同様の研究を行っています。

2, 研究期間

2012年11月19日～2028年3月31日

3, 研究の内容

新鮮骨(腸骨、上下顎骨、歯槽骨)から、または凍結保存骨細胞を解凍し、未分化間葉系細胞(骨や脂肪などになる能力を持った細胞)を培養によって増やします。次にこの細胞を骨を作る骨芽細胞に分化させて、生化学的性質を調べます。一方、この細胞を実験動物(マウスやラットなど)に移植することで骨を作ることができるかを調べます。また長期間凍結保存されていたことで細胞に異常が起きていないかを調べます。さらに新鮮骨(腸骨、上下顎骨、歯槽骨)では、どのようなタンパク質が出ているかを調査し、部位による差異がないかも検討します。

4, 使用する検体

1998年7月～2013年3月までに行われた顎裂部骨移植手術の際に提供頂いた余剰腸骨組織からの細胞で、現在も凍結保存されている検体
・これから行われる手術で、腸骨、上下顎骨の余剰組織を研究に用いることに対し同意いただいた方の検体

5, 個人情報の保護

試料の取り扱いは、個人情報がわからないよう匿名で管理されます。よって個人が特定されることはありません。

6, 患者さんに生じる利益, 不利益について

過去に行われた手術の際に得られた試料を用いた研究であり、患者さんに直接、利益および不利益が生じることはありません。

7, 本研究へのご協力に関して

過去に顎裂部骨移植手術を受けられた方で、自身の試料の使用に同意いただけない場合は、遠慮なく申し出てください。本研究への参加の同意は、あなたの自由であり同意が得られない場合でも今後の治療に不利益が生じることはありません。また、一度同意していただいた後でも、いつでも同意を取り消すことができます。

8, 研究成果の発表について

学術論文、学会発表などで研究成果を発表します。この際個人が特定できる形での発表は行いません。

9, 費用について

本研究において、患者さんが新たに負担する特別な費用は一切発生しません。

10, 連絡先

北里大学 医学部 形成外科・美容外科学

熊澤 憲一

Tel: 042 - 778 - 9074 (形成外科外来)

email: kuma.prs@kitasato-u.ac.jp